



# 日野学園だより

39

品川区立小中一貫校 日野学園

校長 青木 経

ホームページアドレス <http://www1.cts.ne.jp/~hinogaku/>

平成 21 年 9 月 1 日

## 2 学期のスタートにあたって

校長 青木 経

新型インフルエンザの影響で延期になっていました 9 年生修学旅行は、8 月 27 日(木)～29 日(土)に実施されました。晩夏の京都・奈良地方はどこに行っても修学旅行生でにぎわっていましたが、担当者や宿泊施設の機敏な対応で無事終えることができました。生徒達は日野学園の学びの集大成として、教科や市民科の時間を活用して卒業論文の作成に取りかかります。「学び」「考える」ことを目的とした今回の行事を、各自が卒業論文でどのように表現し、まとめていくのか今から楽しみです。

夏休みの期間中には、地域飲食店のご厚意で毎年実施されている 4 年生のラーメン教室の他、地域の行事へ児童生徒会や吹奏楽部が参加させていただきました。また、9 日間にわたる P T A 主催のラジオ体操も、今までにない参加人数を数えることができました。どの行事をとっても、地域の皆様の温かいご支援と各ご家庭のご協力なしには実行できない内容であったと思います。

2 学期も本日から授業をおこない、給食後は児童引き渡し訓練と集団下校訓練を実施し本格的にスタートいたしました。しかしながら新型インフルエンザに対する今後の対応については予断を許さない状況です。夏休み期間中も一斉配信メールを使用して保護者の皆様に情報提供に努めましたが、毎日の予防対策と緊急時の対応については詳しく別紙でお知らせいたしますとともに、9 月 5 日の土曜登校日に 1 年生～4 年生の保護者会で説明させていただきます。各ご家庭における健康管理につきましては、引き続きご協力の程お願い申し上げます。

さて、日野学園は平成 21 年・22 年度専門外部評価の対象校になっています。品川区では学校経営の向上並びに小中一貫教育の推進を図ることを目的として、3 年に一回の頻度で専門分野の有識者が各学校の学校経営・教育課程・法令等・予算執行などに関して評価をおこないます。これに先立ち、平成 23 年度に向けての学校経営方針と最重点事項を教育委員会に提出いたしました。主な内容につきましては以下の通りです。

### 最重点事項

#### 1, 施設一体型小中一貫校教育の推進

開校 4 年目を迎え、一貫校の土台作りから次のステップである教育活動充実期として平成 21 年・22 年度は「学力の向上」と「よりよい人間関係に育成」の 2 つを柱にプラン 21 に取り組む。

#### 2, 学力向上と生活指導の充実

子どもたちの落ち着いた学習環境を生かし、児童生徒が 9 年間を通して自学自習の意欲と態度を身に付けられるようにするため、授業形態や授業内容の工夫を推進するとともに、各ブロックごとの共通指導と共同指導をおこなう。

#### 3, 連携小学校・保護者・地域との連携強化

保護者や地域から信頼され、日野学園は学力が付く学校として選択されるように、連携小学校との交流活動に努めるとともに、地域へ積極的に出向き一貫校のよさをアピールする。また、来年度開校 5 周年として一つの節目を付ける。

上田副校長は私事都合により 7 月 31 日付けをもちまして退職いたしました。新たに斉藤道副校長を迎え、管理職 4 人体制で臨みます。今月の学校だよりでもご紹介させていただいておりますが、宜しくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

# 宿泊学習から 学ぶこと



6月24日～26日の特別支援学級連合移動教室を皮切りに、7月8日～10日の6・7年合同磐梯移動教室、7月22日～24日の5年日光林間学園、そしてインフルエンザ流行のため延期されていた9年の京都・奈良修学旅行がこの8月27日～29日に行われ、本年度の宿泊行事が終了しました。卒業文集などで題材を選ぶとき、この宿泊行事を文集の題材に選ぶ子どもがとて多くいます。子どもたちにとって宿泊学習はとて印象深いものであり、それだけ学んでいることも多いといえます。二泊三日、親元を離れ、仲間と過ごす体験は、子どもたちを一回りも二回りも大きくしてくれます。子どもたちにとって大人から学ぶことはとて大切なことですが、同輩の仲間から学ぶことはそれ以上に大きな意味を持っているのかもしれません。

日常の学校生活以上に仲間と密にかかわって過ごす三日間。さて、宿泊学習を通して日野学園の子どもたちはどんなことを学んだのでしょうか。最近の子どもたちについて、基本的な生活習慣・社会生活習慣が、きちんと身に付いていないことがよく話題に取り上げられていますが、そのような実態も踏まえつつ、宿泊行事の成果と課題を明確にして今後の指導に取り組んでいきたいと思っています。

## 日光林間学園

5学年担任 山田 豪

7月21日から2泊3日で栃木県の日光に行ってきました。5年生にとっては初めての宿泊行事でした。“自立した行動。自分の行動に責任をもつ。自然と触れ合う。”という3つの目標を立て事前学習から、まずは自分たちで考え行動していく姿勢で取り組みました。

初日は、アスレチック、ネイチャーゲーム、飯ごう炊さん、キャンプファイヤーと盛りだくさんでした。どの活動も楽しく積極的にできました。特にキャンプファイヤーでは、フォークダンスで一体となって盛り上がりました。事前に液を作ったシャボン玉も幻想的で、花火も行いました。楽しみだったテント泊も、自然の中で気持ちよく眠れました。

2日目は山登りです。天気が心配されましたが、日頃の行いの結果、実施できました。つらそうな人の荷物を持ってあげるなど良いところも見え、だれ1人遅れることなく全員で時間内にゴールできました。ゴール後のアイスはとておいしかったようです。夜の肝試しでは悲鳴をあげながらも男女協力して歩ききりました。

最終日は乳搾りにバター作りを行いました。途中部分日食も見ることができました。帰りのバスでは、「もう少し泊まりたい。」などの声も聞かれ、楽しく充実した宿泊でした。

集団生活の中で、3つの目標を守れたり守れなかったり、その都度自分たちで考え、課題を解決する場面をたくさん経験できました。2学期以降の生活に活かしていきます。

## 6・7年磐梯高原移動教室

7学年担任 橋爪 美奈子

天候には恵まれず、雄国沼登山やキャンプファイヤー、朝礼などができませんでしたが、大きなケガや事故もなく、無事に二泊三日の移動教室を終えることができました。区内で一番最後の移動教室ということで暑さや熱中症も心配しましたが、高原は東京と違ってとて涼しかったです。1日目はおいしい喜多方ラーメンを食べ、飯豊農協にお世話になり農業体験をしました。柿の木の剪定やアスパラガスの世話、牛のえさやりなどたくさんの経験をすることができました。農作業後、アイスをみんなでごちそうになった班もありました。2日目は五色沼でまさかの豪雨にあい、ずぶ濡れで運動靴もジャージもドロドロとなり、帰りのバスで新聞紙を敷いて座席に座るほどでした。



夜はレク係りのピンゴ大会と室内から見た打ち上げ花火が思い出に残りました。そして、3日目のコース別体験では、カヌーや川魚つかみ、陶芸に和菓子作り、そば打

ちなど盛りだくさんの経験をすることができました。 目標としていた三つの宝（協力・友情・絆）は一人一人の心の中に残ったことでしょう。

### **移動教室を通じて学んだと**

**6 学年担任 井口 明**

6年生は、7月に7年生と合同で磐梯高原移動教室を実施しました。宿舎での生活、農業体験など、7年生と一緒に班を作りました。6年生約40名に対して、7年生は約120名。「同じ学年同士で組みたい。」「7年生と一緒にだと緊張するし、なんだか怖い・・・。」そんな声が6年生からは聞こえてきました。しかし、そこは底力のある6年生、スタートしてしまえば、楽しく、力をあわせることができました。宿舎での生活では、7年生がリードしてくれました。部屋の整頓や時刻を守った行動は、7年生のリーダーシップがあってこそ。農業体験では、一生懸命に取り組む6年生の姿に触発されたのか、競い合うように作業をしていました。作業もひと段落し、お世話になった農家の方のお宅でくつろいでいるときは、6年生の人懐っこさが目立っていたように感じられました。7年生との共同の生活を通じ、学んだことは数多くあります。具体的に子どもたちの生活の中に現れてくるのはこれからだと思います。例えば、農業体験では、一生懸命に取り組んでいたのはむしろ6年生のほうが多かったように思います。7年生に対して不満を口にする子どももいましたが、体験を終えて戻ってきた子どもの顔は達成感にあふれていました。こうした体験は、今後自分たちが中心になって下級生と活動するときに生きてくると思います。上級生の姿を見て、見習うべき点と改めるべき点はどこかを考え、判断しながら行動する力をしっかりと自分のものにする、今回の移動教室をそのきっかけとできるように、日々の生活を充実したものにしていきたいと考えています。



### **特別支援学級連合(6組)移動教室**

**6 組担任 吉田 達**

1日目「あぶくま洞」では、バーベキューでお腹一杯に食べた後、「石の顔・クリスマスツリー・月の世界」など神秘的な鍾乳洞を見学いたしました。キャンプファイヤーでは、各学校ごとの出し物として「磐梯高原クイズ」をし、「少年時代」を全員で歌いました。

2日目ハイキング、「雄国沼」へ、登山が大変でしたがみんなで力を合わせて歩き、疲れを忘れる程の満開で美しいニッコウキスゲが咲いた湿原を散策しました。また、桧原湖では、全員でおいしいソフトクリームを食べ、モーターボートの迫力に感動していました。

3日目那須サファリパーク、象の鼻が伸びてきたり、様々な動物がえさを求めて見学バスに近づいて来ることにビックリしながら、上手にえさを与えることができました。

9年生を中心に班長やバスレク、食事係など一人一人が各係を責任を持って取り組み、皆で協力し、「友だちの交流・自然の美しさ・全員で行動すること」を学び、楽しく頑張れた移動教室でした。



お詫び 9年生修学旅行については、次回10月号に掲載します。

### **着任のご挨拶**

**副校長 齋藤 道**

皆さんこんにちは、8月1日付で本校に着任いたしました。副校長、齋藤 道（トオル）と申します。7月までは、八王子市立四谷中学校というところに勤務していました。四谷中は、都内の小中学生がよく遠足に出かける「高尾山」の近くで、春は新緑、秋は紅葉と四季の変化を身近に感じられる自然が豊かな環境の学校でした。

私は今まで多摩地区の、それも西多摩の日野や八王子の学校に長く勤務していたものですから、23区内の学校は初めてで、日々新鮮な発見があり驚きの連続です。特に日野学園は、校舎も新しく設備もすばらしいことにびっくりしました。このように恵まれた環境で生活できる児童生徒の皆さんは、幸せだと思います。

私も一日も早く日野学園の生活に慣れて、皆さんがこの学校でしっかりと頭と心と体が鍛えられるように、力を尽くそうと思っています。よろしくお願いいたします。

**「気持ちを大切に 感情を豊かに表現する」** 副校長 森嶋 尚子

2学期が始まりました。学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。学校にはやはり子どもたちの姿が似合います。今学期は1 - 4ブロック中心の運動会や5 - 9中心の文化祭、品川区連合の運動会や体育大会・理科発表会・英語発表会など行事も目白押しです。地域・保護者の皆様にも願うことも多いかと思えます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、40数日間の長い夏休みを終え、今朝、子どもたちはどんな気持ちで登校したでしょうか。また、昨晚はどんな気持ちで眠りについたでしょうか。ご自分のお子さんをイメージしてちょっと考えてみませんか。

『友達や先生に早く会いたいな。(わくわく楽しい)』『夏休みの自由研究、みんなはどんなことをやっているのかな。(ちょっと心配)』『忘れていた宿題はないかな。(ちょっと不安)』『明日は早く起きるぞ。(やる気十分)』『もうちょっと休みたいな。(ちょっと弱気)』『さあ、2学期だ。勉強がんばるぞ。(やる気満々)』・・・などなど。さあ、お子さんの気持ちをどれだけ想像することができましたか。2学期に向けて、もうすでにお子様とこのような話をなされたご家庭もあるかと思いますが、私たち大人が想像する以上に、一人ひとりの子どもの中には、ひとつだけではない、いろいろな気持ち・感情があり、複雑に絡み合っているものです。

気持ち・感情も年齢に応じて発達するもので、徐々に分化・複雑化していくと言われています。乳児の「快・不快」の感情が次第に発達し、10歳ともなれば「戸惑い」や「がっかり」などの感情もその違いを含めて感じる事ができ、また感情の移り変わりも知覚できるようになります。気持ちや感情は自分で自覚し、コントロールできるようになることが大切です。そのためには、子どもに向き合って丁寧にその気持ちを「聴き」、そして「訊きながら」言葉にし、整理してあげる必要があります。

自分の気持ちを大切に、「うざい」「かっとなる」といった割り切り方ではない、感情を豊かに表現できる子どもを育てることを目指して、今学期もいろいろな取り組みや支援をしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



**9月行事予定**

月	火	水	木	金	土	日
	1 始業式 防災・引取り 訓練	2 学習確認テスト 2 9年	3 身体計測 2年	4 身体計測 3年	5 土曜登校日 保護者会 1 4年	6 地域防災訓練 (第一日野小 校庭)
7 身体計測 4年 スパリング コンテスト始	8 身体計測 5・6年	9 水曜特別時程	10 市民科研究授業 8・9年	11 スパリングコンテスト終 P運営委員会 保幼連携学習 氷川神社祭礼	12 地域清掃 氷川神社祭礼	13 氷川神社祭礼
14 社会科見学3年	15	16 特別支援学級 連合運動会	17	18 児童生徒会選挙	19	20
21 敬老の日	22 国民の祝日	23 秋分の日	24 社会科見学4年 中連合体育大会	25 中連合体育大会 予備日	26 PTA ひのまつり	27
28	29	30 市民科研究授業 5～7年				